



林 声



OKAYAMA

お か や ま

No.337 . 1998 . 1 . 1



賀
正

1998 元旦

里庄 美しい森

目 次

新年のごあいさつ	2	“樹”	6
平成9年度功労者表彰 受賞者の紹介	3	林研だより	7
シリーズ森林公園	4	お知らせ	8 ~ 9
普及指導最前線	5	林産物市況等	10

“おかやまの 未来をひらく 農林漁業”

岡山県 農林漁業活力向上運動

新年のごあいさつ



岡山県林業改良普及協会

会長 高 宮 明

新年おめでとうございます。

平成十年の輝かしい年を迎え、会員の皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げますとともに、本協会の運営につきまして格別のご協力を賜っておりますことを厚く御礼申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと長引く景気の低迷により、銀行、証券会社、生命保険会社などの経営破綻が相次ぐなど、まさに激動の一年でありました。

また、森林・林業分野におきましても、製材輸入製品の増加や林業労働力の減少に加え、住宅着工戸数の減少による製材品の不振、木材価格の低迷などたいへん厳しい状況にあります。

このような状況のもとで、本県におきましては、県・市町村並びに林業・木材産業関係団体が一丸となり、林業の復権を目指した様々な施策が実施されているところであります。

現在、深刻な状況に置かれている木材産業の振興を図るため、品質・規格の安定した質の高い製材品の生産や、需要の拡大を目指した各種の取組みが行われているほか、林業従事者の就労条件の整備、林業労働力の確保と担い手の育成確保を図るために、「岡山県林業振興基金」による高性能林業機械の整備促進や多能技術者の養成などの支援も行われております。

こうした努力は必ずや林業・木材産業界の復興に結びつくものと確信しているところであり、本会におきましても、できるかぎりの協力をさせて

いただく所存であります。

一方、森林に対する国民の期待は、単に木材生産の場としてばかりでなく、水資源のかん養、国土保全、保健休養の場といった公益的機能にシフトしつつ多様化・高度化してきております。

本県におきましても、森林の大切さ、良さを啓発することを目的に、県民総参加による「美しい森づくり運動」が平成五年度から展開されており、これまで「植樹のつどい」等の行事に林業関係者のみならず一般の方々が多数参加され、森林・林業の重要性に対する理解が深まりつつあるのを感じております。こうした森林を守り育てていこうという多くの方の意識が、今後の森林・林業を支えていく大きな力になるものと期待しております。

林業は、他の産業と比べ非常に生産期間の長い産業です。育林家の皆様におかれましては、現在の状況を悲観することなく、将来に夢を託した計画的な「山づくり」を引き続き実践していただくようお願いいたします。

最後になりましたが、今年が会員の皆様方をはじめ林業・木材産業界にとりまして、充実した良い年になりますよう祈念いたしまして、新年のごあいさつといたします。

平成九年度功労者表彰受賞者の紹介

平成九年十一月八日、灘崎町で開かれた「ふれあい交流フェスティバル岡山地域ふるさとまつり」において、長年農林漁業の振興に尽力された個人と団体の表彰が行われました。

そのうちの林業関係受賞者の概要について紹介します。

一 農林漁業功労者表彰

〈知事表彰〉

安東政雄（英田町北）

役職等

- ・英田町森林組合理事
- ・岡山県普及指導協力員

功績内容

・拡大造林の推進や優良材生産を図るための枝打・間伐の適期実施を自ら率先するなど地域林業の模範となっている。

・英田町森林組合の理事として経営の安定化を図るとともに、間伐推進員・普及指導協力員としても適正な森林施業の指導に尽力している。

〈農林部長表彰〉

藤田大道（美星町黒木）

役職等

- ・美星町森林組合長

功績内容

・美星町森林組合理事及び組合

長として、事業拡大・体制強化に取り組むなど組合経営の基盤強化に尽力している。

・マツタケ生産振興、松くい虫被害対策などに積極的に取り組み、地域リーダーとして幅広い活動を展開している。

橋本五策（神郷町高瀬）

役職等

- ・阿新地区山林種苗生産組合長
- ・岡山県山林種苗協同組合理事

功績内容

・昭和二十四年から種苗生産に取り組み、以来優良苗木生産技術の研究・実践を行い、各種品評会で優秀な成績をおさめるなど卓越した技術を持っている。

・阿新地区山林種苗生産組合のリーダーとして生産者の指導技術の普及のつとめ、造林用苗木の安定供給に尽力している。

武本啓志（奥津町奥津）

役職等

- ・奥津町森林組合長
- ・岡山県森林審議会委員

功績内容

・平成元年から奥津町森林組合の組合長として組合運営に尽力し、組合事業の拡大と経営の改善に貢献している。

・奥津林研・苦北林研などの役員を務めるとともに、森林審議会委員、県林研部会長など幅広い活躍で地域林業の振興に貢献している。

〈農林部長表彰（団体指導）〉

赤木 強（川上町上大竹）

役職等

- ・川上町森林組合長
- ・岡山県森林組合連合会監事

功績内容

・昭和四十二年から川上町森林組合の理事及び組合長として組合運営に尽力し、組合事業の拡大と経営の改善に貢献している。

二 農林漁業近代化表彰

（株）奈義森林建築センター

功績内容

・森林組合が生産・加工した木材を使用した来軸組工法による本格木造住宅を直産方式で供給し、地域産材の需要拡大や本格木造住宅のPRを図るとともに、建築技術者の育成や雇用の場の確保を図るなど地域林業の振興に貢献している。

（林政課 林業専門技術員

柳谷 義博）

シリーズ森林公園 5

里庄美しい森

里庄美しい森（面積一六・九畝）は、平成八年九月、事業費約三億円をかけて浅口郡里庄町里見地区にオープンしました。都市近郊型の森林公園として、西は福山市周辺から東は倉敷市周辺、遠くは京阪神方面から情報誌を読んできたといった若いグループや家族連れが訪れています。

ここは市街地から近く、山陽自動車道や国道二号線、JRといった交通の便が良いにもかかわらず、森の中は静けさを保っています。

園内には、五つの池が連なり、ビクターセンターをはじめ、キャンプ場や多目的広場を整備しております。又、現地の林況に応じて「花の森」や「郷土の森」、「冒険の森」など、五つのゾーンに分けて森を整備しています。

こうした森を結ぶ遊歩道や連絡道が約二二〇メートル整備されており、途中の展望台からは、眼下に広がる里庄の街並みや遠く

瀬戸内海を望むことができます。

オープン以来の利用者は延べ九三〇〇人、月平均約六七〇人（平成九年十一月末まで）の方が訪れていますが、このうちの多くが日帰りの利用で、週末のお昼時にはお弁当を持ったグループや家族連れの姿が多く見られます。

施設の利用では、キャンプ場の利用者が最も多く、夏本番になれば週末を中心に色々なテントが張られ、普段静かなこの森も、この時ばかりは大いに賑わっています。

皆様も、近くにお越しの時は、是非お立ち寄りいただき、一度ゆっくり散歩してみてください。

問い合わせ先

里庄町役場建設課

浅口郡里庄町里見

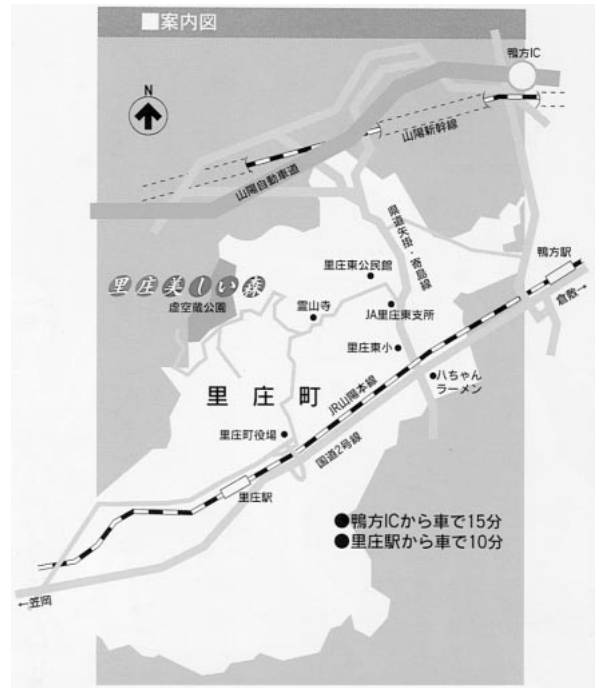
(〇八六五) 六四 三二一

里庄美しい森

ビクターセンター

(〇八六五) 六四 七九〇四

(井笠普及指導区Ag野口朋弘)



普及指導最前線

倉敷地域の美しい森づくり運動について

平成五年に美しい森づくり運動が始まって以来、倉敷普及指導区では、この運動に対する地域住民の関心は年を追うことに高まっており、その背景には次のような地域性が考えられます。

一 平成六年、王子が岳周辺において大規模な山火事が発生して、大量の緑が失われた。

二 倉敷市には「倉敷の自然を守る会」の活動に見られるように、住民の自然保護に対する関心が高い。

こうしたなかで、美しい森づくり運動は、

一 植樹による森づくり

二 小学生に対する森林教室をメインとして行っています。

まず、植樹については平成七年度から王子が岳の山火事跡地で、さまざまな団体により行われてきました（別表参照）。

今後、本年二月に児島子ども会協議会が結成四〇周年を記念して五〇〇人規模で実施するのをはじめ、三月には瀬戸大橋開通一〇周年を記念し、公募により大規模な植樹を実施する予定

です。王子が岳は降水量が少ないうえ、海上からの強風にあおられ、樹木が生育しにくい地域です。子供など素人が植えて活着するの不安でしたが、しっかりと育てており、森づくりは着実に実っています。

今後は、植樹だけでなく植栽後のメンテナンス、下刈り、補植なども取り組んでもらいたいと考えています。

次に森林教室ですが、ドンダリポット苗木づくりを通して始めたのをきっかけに、これまで多くの小学校で実施してきました。今年度も、学校からの要請により職員が指導に出向いています。

十一月五日実施した総社市立維新小学校の森林教室では、学校裏の神社林で樹木検索を行いました。樹木の見分け方について説明した後、子供たちに図鑑で調べてもらうこととしました。初めての体験だったようで、名前を覚えるのが困難な様子でした。

しかし、学校に帰って森林と樹木の話をしたところ、予定時刻を三〇分も超過するほど質問

があいつぎ、関心の深さを伺うことができました。

「カシの木はどのような花を咲かせるのか」と聞かれたときは、私自身も見つめた記憶がなかったため返答に困りました。勉強不足を反省したところです。

美しい森づくり運動は、岡山県が独自に始めた施策で、今後の普及活動をリードするものです。そして、この運動を盛り上げていくのは私たち普及員の職責である、改めて職務の重要性を認識するところです。

(倉敷普及指導区 Ag 広井睦生)

倉敷市児島王子が岳山火事跡地のボランティアによる植樹状況

年月日	参加者	人数	植栽本数
H7. 4.22	倉敷市自然史博物館友の会等	150	3,000
H7. 6.22	玉島南小学校 6年生	130	400
H7.10.22	倉敷王子ライオンズクラブ等	150	1,100
H8. 2.24	唐琴自治連合会・森づくりの会等	1,050	10,800
H8. 3.29	阿新地域美しい森づくりの会	120	1,300
H8. 4.28	J Rふるさとサンデーウォーク参加者	320	2,000
H8. 5.21	玉島南小学校 6年生	100	2,500
H8. 8.31	緑の少年隊交流集会	120	2,400
H8.10.24	連島南幼稚園	140	550
H8.11.10	児島鷺羽ライオンズクラブ等	160	2,250
H9. 3. 8	唐琴自治連合会・森づくりの会等	1,050	25,000
H9. 3. 9	倉敷王子ライオンズクラブ等	150	2,000
H9. 3.16	高梁地域美しい森づくりの会	100	2,000
H9. 5. 7	霞が丘小学校 5年生	50	600
H9. 5.15	福田南中学校 1年生代表	10	120
H9. 5.24	連合岡山倉敷地協・森づくりの会	300	6,000
H9. 6.18	玉島南小学校 6年生	117	1,000
H9.10.27	茶屋町西幼稚園	70	190
H9.10.28	連島南幼稚園	130	500
H9.11. 2	倉敷王子ライオンズクラブ	130	2,000
H9.11. 9	児島鷺羽ライオンズクラブ他	100	1,800



H9.11. 9 王子ライオンズクラブによる植樹

毎年、秋の気配を感じる頃から年内いっぱいにかけて、松くい虫に関する電話での問い合わせ・現物持ち込みによる診断依頼が殺到します。一日当たりの問い合わせが五件を越すことも珍しくなく、その内容のほとんどが「庭木の松の葉の色がおかしくなった。松くい虫ではないか?。薬は何をかけたらいいいか?。」というものです。

診断の結果、問い合わせの約半数が「松くい虫(マツ材線虫病)」、約三割が「マツ葉ふるい病」、残り約二割が「赤斑葉枯病、その他」という傾向が見

られ、案外、葉ふるい病・葉枯病の被害も大きいと言えます。そこで今回は、松枯れ原因の見分け方のポイント、予防法を簡単に紹介したいと思います。

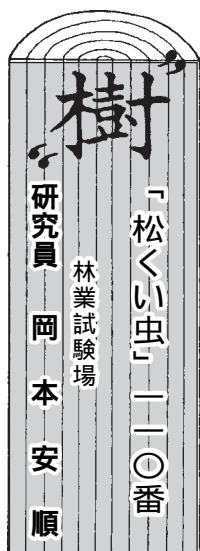
【見分け方のポイント】

一、樹脂(ヤニ)が出るか
針葉変色木の小枝を折るか、幹に千枚通し等で傷を付けてみてください。葉ふるい病・葉枯病の場合、被害がかなり進んで

いても傷口からはすぐにヤニが出てきますが、松くい虫被害の場合、比較的健全に見える枝からもほとんどヤニは流出せず、このような松は既に枯死しています。どんな治療も手遅れと言えます。ヤニ流出の有無は、松の生死を判定する重要なポイントですので、是非一番に確認してみてください。

二、葉がしおれていないか

松くい虫被害は、外国で「松



林業試験場

研究者 岡本安順

の萎ちよう病」と呼ばれているように、外見的症狀として変色病葉が萎れて垂れ下がります。

葉ふるい病等他の樹病では、このような症状は見られず、松くい虫被害を見分ける一つのポイントです。また、松くい虫被害の場合、病葉の変色・萎れは九月頃から始まり、必ず旧葉(前年葉)から新葉(当年葉)へと進み、約一か月という短い期間で完全に枯死してしまいます

が、他の樹病の場合、被害がかなりひどくても短期間で松全体が枯死することはありません。

三、葉に病斑があるか

松くい虫被害が、マツノザイセンチュウという動物により引き起こされる病気であるため、松くい虫単独の被害では針葉上に病斑(病気の斑点)等の形成は見られません。しかし、マツ葉ふるい病・葉枯病等他の病気は、主に糸状菌(カビの一種)により起こるため、針葉上にはその菌特有の病斑や菌体(胞子等を形成する器官)が必ず生じます。これら病斑・菌体の色・形状・発生時期等は樹病を見分ける大きなポイントとなります。

マツ葉ふるい病と赤斑葉枯病の見分け方は次のとおりです。

マツ葉ふるい病の場合、夏の終わり頃から当年葉の上半に黄褐色の病斑を生じ、翌春葉全体が褐変して、その後葉が激しくふるい落ちます。葉枯病の場合、晩秋の頃から当年葉の先端部に褐色斑を生じ、翌春先端部は鮮やかな赤褐色になり、秋には葉全体が褐変して落葉します。

【防除法】

一、松くい虫の予防

六月上・下旬の二回、有機リン剤(スミパイン乳剤)の一八〇倍液を松の枝葉に散布する。

松くい虫被害にかかる治療法はありません。大切な松には是非予防散布を行ってください。

二、葉ふるい・葉枯病の予防
松の生育期(五月下旬)から、銅水和剤(ポルドー合

剤)、マンネブ剤(マンネブダイセン水和剤)の五〇〇倍液を二週間間隔で数回散布する。

林 研 だ よ り

「赤松林の保全を目指して」
赤松林を保全する会

会長 平 尾 松 男

岡山県の東部に位置する吉井町では、林野率が七三%を占め、そのうちアカマツ林が民有林面積の四四%にあたる約二、七〇〇haあり。松林は、優良建築材の生産の場として、また、マツタケ生産の場として重要な森林資源となつています。

町内には、暮田、塩木、戸津野及び光本地区を対象に赤松林を保全する会があります。当会は会員が協力してアカマツ林の保全に努め、森林の保護と従来から地域の特産物として産出されるマツタケの生産に努め、山林資源の有効な活用と会員相互の親睦を図ることを目的として平成四年に各地区代表者一四名及び松林所有者等により結成されました。発足の目的を達成するため (一)アカマツ林の計画の松くい虫駆除 (二)既存アカマツ林の適正な保護管理並びに育成管理 (三)マツタケ発生環境の整備等の活動を積極的に行っていますので紹介します。

(1) 伐倒駆除の推進

近年、町内及び関係地区の周辺において松くい虫被害が拡大しつつあり、一部には被害の激しい箇所も見られます。アカマツ林を保全するため伐倒駆除等の自主防除を実施しており、会発足以来五ヶ年間で五、八三〇立方m実施しました。特に、平成八年度には二、〇九〇立方m実施し、被害減少のため懸命の努力をしています。

(2) アカマツ林の適正な育成管理
吉井町は昔からマツタケの産地でありましたが、近年、松くい虫被害及び燃料革命等により発生は減少しています。

そのため、当初発足の目的でもあるマツタケの増殖をはかるため、不用木の除去、不良木の淘汰等林内清掃に努め、マツタケの発生環境整備に意欲的に取り組んでいます。

(3) 空中散布の実施、協力

吉井町は平成九年度において空中散布を、単県及び単町事業

を含む四二〇ha実施しており、当会においてはその実施にあたって関係する地区の危被害の防止対策、当日の立会など全面的に協力しています。

会としての年数は、まだ短いですが会長をはじめ会員が協力し意欲的に活動されており、今後松くい虫被害からアカマツ林を守り育てる中心的グループとしての活躍が期待されます。(東備普及指導区Ag板倉和実)



お知らせ 「美しい森づくり講演会」の開催

美しい森づくり推進会議（県
下九地域の美しい森づくりの会
等で構成）では「美しい森づく
り講演会」を開催します。

この講演会は、私たちの暮ら
しに潤いと安らぎをもたらす森
林を県民みんなで守り育て、次代
に引き継いでいくこと、岡山県が
推進している「美しい森づくり
運動」の一環として開催するも
ので、森林の役割やこれからの
森づくりのあり方などについて
考え、森づくりへの積極的な参加
を呼びかけることとしています。
皆様の御来場をお待ちしてい
ます。

一 日時 平成二〇年一月三日(木)
午後一時三〇分～
三時三〇分

二 場所 岡山国際交流センター
(岡山市奉還町)

三 主催 美しい森づくり推進会議
岡山県

四 後援 岡山県森林組合連合会
(社)岡山県木材組合連合会
(社)岡山県治山林道協会

五 定員 一五〇名程度

六 講師 岡山県 重篤
(牡蠣養殖業)

(演題) 「森は海の恋人」
(経歴)

- ・一九四三年生まれ
- ・宮城県唐桑町在住
- ・牡蠣の森を募う会代表
- ・海の環境を守るには海に注ぐ川、そして上流の森を大切にしなければならぬことに気づく
- ・一九八九年から気仙沼湾に注ぐ大川上流の根室山に漁民による広葉樹の森づくりを開始する
- ・一九九四年朝日森林文化賞を受賞
- ・著書に「森は海の恋人」、「森と海とマチを結ぶ」(北斗出版)

七 問い合わせ先
県庁林政課

美しい森づくり推進班
(☎〇八六 二二四 二一一一
内線三三〇四)



山火事予防表示燈が完成

山火事は、たき火やタバコの
不始末など、安易な考えで火を
取り扱うことにより発生する傾
向があります。

このため、総社市が林野火災
予防強化対策事業により、総事
業費二百万円をかけて山火事予
防表示燈を設置しました。

設置場所は、総社市黒尾の
『砂川公園』入口付近の最も目
立つ場所、国指定史跡鬼城
山、中国横断自動車道、岡山総
社ICからも近く、多くの観
光客が訪れる場所です。

表示燈は、清閑で文化的な吉
備路の五重塔をイメージし、電
光掲示により山火事の予防を呼
びかけるようになっていきます。

表示内容は、『あなたです山
を守るも火を出すも』等二〇種
類表示することができます。

かけがえない緑を守るため
山火事をおこさないように注意
しましょう。

(倉敷普及指導区Ag金光兵衛)



岡山県森林病害虫等防除センターを 地域での自主的な防除活動を支援します。

岡山県では、地域での自主防除を支援するため、昨年十一月に森林病害虫等防除センターを設置しました。

【センターの概要】

一、目的
岡山県は、瀬戸内海沿岸から中部高原地帯にかけて全国的にも優れた天然松林が広がっており、その保護育成に努めております。

特に松くい虫被害に対しては市町村等と一体になって空中散布をはじめ、地上散布、伐倒駆除、樹種転換など総合的な対策を講じており、平成四年度以降被害量は減少していますが、なお高い水準にあります。

今後、松くい虫被害のより一層の沈静化を図るためには、地域の人たちの自主的な防除をさらに推進することが不可欠であり、被害対策を促進する核として森林病害虫等防除センターを設置し、地域での自主的な防除活動を支援します。

二、設置場所
岡山県農林部林政課
(防除器具等の保管場所：林業試験場)

活動内容

防除器具の貸付
防除などに必要な各種器具を、地方振興局を通じて市町村、自主防除組織等に無償で貸付けます。

- ・「貸付器具及び整備台数」
 - ・移動式チップパー (二台)
 - ・移動式炭化炉 (五台)
 - ・自動新割機 (三台)
 - ・簡易搬出機 (五台)
 - ・動力噴霧器 (六台)
 - ・チエーンソー (八台)
- なお、防除器具は順次整備していく予定です。

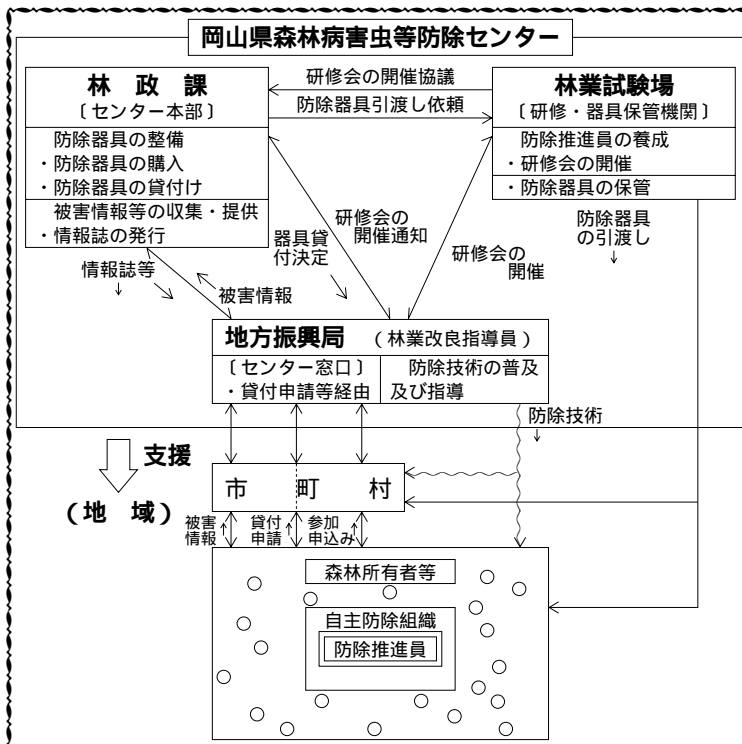
研修会の開催及び現地指導
地域における防除活動のリーダーなどを対象に、林業試験場において被害対策、防除器具の取扱等について研修を行います。また、それぞれの地域においても、随時、防除技術や器具の操作方法等についての指導を行います。

被害情報の収集・提供等
被害情報を早期にかつ的確に収集し、地域に提供し適切な防除対策に努めるとともに情報誌を発行します。
被害木の有効利用

松くい虫被害木を炭化して燃料、土壌改良剤、水質浄化用等として、また、チップにしてマルチング材や肥料として使うなど、被害木有効利用が図れます。
これまで防除センターでは昨年十二月十七日、十八日の二日

間、研修会を開催し、九名の防除推進員を養成しております。また、自主防除活動の普及啓発や防除センターの活動内容を紹介した「松くい虫から松を守るう」を作成しました。
地域での自主防除を図るため防除センターを積極的に活用していただきたいと考えております。

(林政課 森林保全係)



林産物市場況

製材 (12月上旬)

杉正角 3m			桧正角 3m			桧長柱 6m		
寸法	等級	安値 - 高値 (千円)	寸法	等級	安値 - 高値 (千円)	寸法	等級	安値 - 高値 (千円)
6.0	一等	25 - 28	6.0	一等	38 - 40	10.5	特等	90 - 100
7.5	一等	20 - 22	7.5	一等	33 - 35	12.0	特等	100 - 105
9.0	上一	18 - 20	9.0	上一	18 - 20	"	上小	110 - 130
"	一等	20 - 22	"	一等	25 - 28	13.5	特等	80 - 90
10.5	一等	35 - 40	10.5	一等	60 - 65	"	上小	95 - 110
"	特等	40 - 45	"	特等	70 - 75	ラ ス 板		
"	上小	60 - 70	"	上小	120 - 160	2 ^m 1.2×9.0		22 - 25
"	無節	80 - 100	"	無節	200 - 230	3 ^m 1.2×9.0		23 - 25
12.0	特等	35 - 43	12.0	特等	70 - 75	2 ^m 1.5×10.5		23 - 25
"	上小	60 - 65	"	上小	120 - 150	2 ^m 0.9×24.0		65 - 70
"	無節	70 - 80	"	無節	200 - 230	2 ^m 1.5×21.0		35 - 40
長 サ 4m			長 サ 4m			造 作 材		
6.0	一等	28 - 30	6.0	一等	50 - 55	杉4 ^m 3.0×3.0	無節	(本)6 - 8
9.0	上一	20 - 23	9.0	上一	30 - 33	杉4 ^m 4.0×4.5	無節	(本)12 - 20
"	一等	28 - 30	"	一等	45 - 50	杉4 ^m 4.5×10.5	無節	230 - 280
10.5	特等	40 - 45	10.5	特等	80 - 85	桧4 ^m 4.5×10.5	上小	220 - 250
12.0	特等	40 - 42	12.0	特等	70 - 75	桧4 ^m 4.5×10.5	無節	280 - 330

木材 (12月上旬)

長さ	径 (cm)	杉 (千円)	桧 (千円)	松 (千円)
3m	7 - 10	12	16	-
	11 - 13	16	26	-
	14 - 16	22	33	-
	18上	20	28	8
4m	7 - 10	-	-	-
	11 - 13	-	25	-
	14 - 16	-	38	-
	18上	17	30	13
6m	14 - 16	-	54	-
	18 - 20	-	45	-

乾しいたけ (11月下旬)

名柄別	価格 kg当り (百円)	
	安 値	高 値
香 信 大 葉	36	72
" 中 葉	30	73
" 小 葉	30	64
バ レ 大 葉	24	50
" 中 葉	21	49
ス ラ イ ス	34	55
香 茹	58	70
上 冬 茹	50	78
並 "	37	68
並 並 "	25	61
小 玉 "	11	39
格 外 品	7	43

編集後記

新年明けましておめでとございます。

本年も、昨年同様に「林声」をよろしく願います。

昨年は、林業・木材産業界にとりまして、非常に厳しい年でありました。今年こそは、来るべき二十一世紀に向け、飛躍の第一歩の年になるよう願っております。

(A) 次回は三月に発行予定です。